

立命館大学国際平和ミュージアム2016年度秋季特別展
「絵葉書にみる日本と中国:1894-1945」 関連企画 講演会

絵葉書で旅する大日本帝国

—日中関係と日本人—

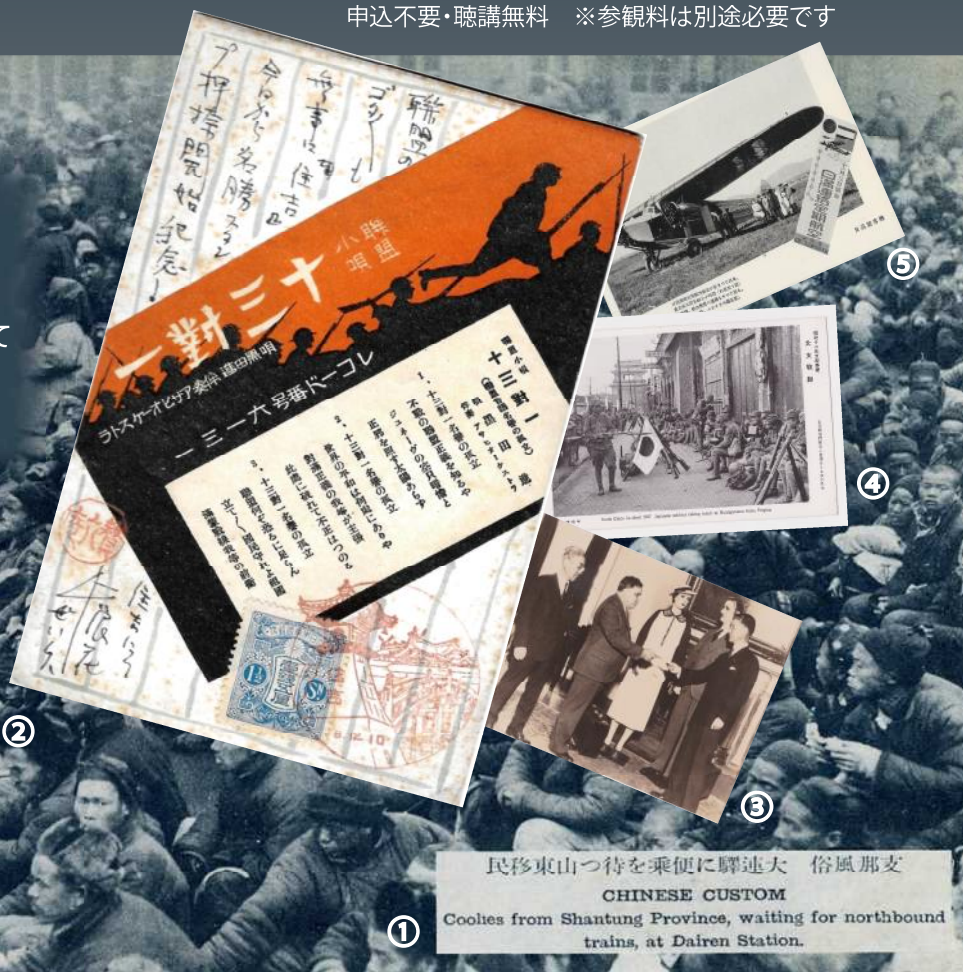
講師 二松 啓紀 氏(立命館大学社会システム研究所客員研究員)

日時: 2016年10月29日(土) 13:30~15:00(13:00開場)

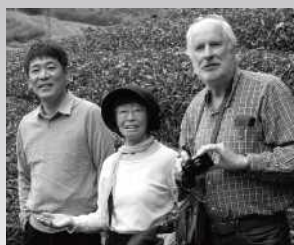
場所: 立命館大学国際平和ミュージアム2階 ミュージアム会議室

申込不要・聴講無料 ※参観料は別途必要です

世界的な絵葉書コレクターとして知られる
ドナルド・ラップナウ氏。そのコレクションを
京都新聞紙上で紹介してきた二松啓紀氏が
かつての大日本帝国、そして日中関係について
絵葉書を用いてひもといていきます。
展示の観覧とあわせて是非ご参加下さい。



民移東山つ待を乗便に驛速大 俗風那支
CHINESE CUSTOM
Coolies from Shantung Province, waiting for northbound
trains, at Dairen Station.



二松氏(左端)とラップナウ夫妻

二松 啓紀(ふたまつ・ひろき)氏

1969年京都市生まれ。同志社大学大学院修了(社会福祉学修士)。
京都新聞社記者。中国残留日本人女性との出会いを機に、2003年
から満蒙開拓団やシベリア抑留などをテーマに取材活動続ける。
著書に『移民たちの「満州」—満蒙開拓団の虚と実』(平凡社)と『裂かれた
大地—京都満州開拓民』(京都新聞出版センター)、共著に『乳がんの
歩きかた』(文理閣)。ラップナウ夫妻とは、京都市内在住の絵はがき研究
家を介して、2015年4月に出会う。京都新聞の紙面にて「旅する “大日
本帝国、ラップナウ・コレクション(絵はがき)から」を連載。

- ①支那風俗 大連駅に便乗を待つ山東移民
- ②連盟小唄 十三対一
- ③紐育市長室に於ける日米親善人形使節
- ④昭和十二年度支那事変 北支戦線
北平广安門付近に食事をとる我が兵士
- ⑤日満旅客機

交通案内

市バス12・15・50・51・59・M1

JRバス「立命館大学前」下車/徒歩5分

市バス204・205「わら天神前」下車/徒歩10分

※お車でのご来館はご遠慮ください。

問合せ: 立命館大学国際平和ミュージアム

TEL:075-465-8151 / FAX:075-465-7899

<http://www.ritsumeikai.ac.jp/mng/er/wp-museum/index.html>



立命館大学
国際平和ミュージアム
Kyoto Museum for World Peace,
Ritsumeikan University